



皆で聴き合い効率的な練習を 混声合唱団とどろき



征矢正寛さん

混声合唱団とどろき（以後「本団」と略します）は、1989（平成元）年創立の混声四部合唱団です。

毎月第1・3土曜日の午後、主に中原区にある会館とどろきで練習しています。団長の征矢（そや）正寛さんに、活動の様子について話を伺いました。

月2回土曜日昼間の練習なので、身体への負担は軽いです。3時の休憩にはお茶とお菓子が出て雑談に花が咲きます。以前は、練習の出来をチェックするのに、いちいちテープを巻き戻していましたが、いまはICレコーダーの再生ボタンひと押しで、ただちに直前の合唱がスピーカーから流れ、それを皆で聴き合い検討して、中断のない効率的な練習をしています。

自宅でも練習できるように、パート練習用CDを団員たちが自作して希望者に提供しています。

練習する曲は「楽しい音楽」を基準に選び、古典曲から最近の歌まで広くカバーしています。

特に自慢は、独唱名曲を四部合唱にアレンジした本団



練習の様子

のオリジナル作品です。2016年現在、手持ちの作品は、浅草オペラで田谷力三が歌った往年の名歌「恋はやさし野辺の花よ」ほか18曲を数えます。



ミューザ川崎市民合唱祭 2016

練習成果の発表は、川崎市合唱連盟が主催する「コーラルフェストかわさき」（冬）と「ミューザ川崎市民合唱祭」（夏）の両ステージで行っています。今春は高田三郎作曲の「心の四季」から「流れ」「愛そして風」「山が」の3曲、そして夏には「なつかしき愛の歌」と「アルカデルトのアヴェマリア」を発表しました。昨年は「第11回なかはらっぱ祭り」と「プラチナ音楽祭2015」にも参加しました。

本団は、内輪の親睦団体から一歩出て、最近は周辺地域の文化活動に参加するようになりました。2014（平成26）年4月には団の規約を改訂し、目的に「地域の文化創造のために役立つ」を追加しました。今年4月からは中原区の中部身障者福祉会館を毎月定期的に訪問して合唱のお手伝いをしています。また6月には、高津区の老人ホームを訪問して演奏を聴いてもらいました。

本団では、「新人を常時歓迎している」とのことです。歌うことの好きな方は、ぜひお問合せください。

■問合せ 征矢 正寛 さん TEL 044-722-7875